

「氷見新聞」

体験活動のまとめとして表現

一人一人が一枚の新聞にまとめる。児童の感動、表現方法などを評価に生かす。また、パソコンの操作技能を習得しながらつくる。

氷見新聞

定置網

朝は、はやくてみんなだらだらしていました。夜は、あまり僕は、ねむれませんでした。バスにのってちょっとたった所において救命胴衣をきて船にのりました。僕は、船に乗るのは、これで4回目です。だからけっこうなれているほうです。だけど定置網を見るのは、はじめてです。だからすごく楽しみにしていました。船にのってしゅっぱつして、うごいているとちゅうにクラゲがたくさんういてきました。だけど、どんどん船にふみつけれられていました。それでやっと定置網をやっている場所につきました。船が4つ係りで網をひっぱっていました。よく見たら魚がうじょうじょいました。クラゲもいっぱい網にくっついていました。だけど漁師さんは、あきらめたかのように魚をにがしていました。ぼくは、どうしてにがしたんだろうと、思いました。

干物づくり

氷見で干物づくりをやっているところについて干物づくりをおしえてもらいにいきました。そしてまずトビウオをさばきました。

まずしんぴんのでぬぐいを手にはめ、また、しんぴんのほうちょうをかしてもらって、ぼくは、なんでこんなにも用意してくれたんだろうと、おもいました。さばいたなかで一番かんたんだったのは、小アジでした。なぜかは、ほうちょうじゃなくて、手でさばいたからです。手でさばくとおもしろかったからです。

氷見に一言

氷見でいろいろおしえてくれたみなさんありがとうございます、またいきたいです。

